

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月3日

上場会社名 科研製薬株式会社  
 コード番号 4521 URL <http://www.kaken.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 四朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 遠藤 孝雄  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 03-5977-5002

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	64,125	—	9,695	—	9,448	—	5,271	—
20年3月期第3四半期	62,291	7.0	8,957	35.4	8,584	37.2	4,447	29.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	52.22	—
20年3月期第3四半期	41.73	41.47

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	97,495	57,013	57,013	57,013	58.5	577.64	577.64	
20年3月期	93,856	57,447	57,447	57,447	61.2	567.02	567.02	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 57,013百万円 20年3月期 57,447百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
21年3月期	—	13.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,500	4.5	10,500	6.7	10,100	8.0	6,100	19.5	61.80

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 101,879,461株 20年3月期 114,879,461株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 3,178,114株 20年3月期 13,564,112株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 100,933,925株 20年3月期第3四半期 106,580,785株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

医薬品業界を取り巻く環境は、後発品の使用促進などの医療費抑制策が浸透するなかで、昨年4月には薬価改定が実施され、加えて第3四半期に入り国内経済減速等の影響が出始めるなど、厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社グループは医療現場のニーズに即した付加価値の高い情報提供活動による地域密着型の営業展開につとめてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 64,125 百万円(対前年同期比 2.9%増)となりました。利益面につきましては、売上が伸長したことにより、薬価改定の影響を吸収し、また、販売費及び一般管理費が前年同期に比べて減少したことにより、営業利益は 9,695 百万円(対前年同期比 8.2%増)、経常利益は 9,448 百万円(対前年同期比 10.1%増)となりました。特別損益では、投資有価証券の売却損及び評価損などが発生し、その結果、四半期純利益は 5,271 百万円(対前年同期比 18.5%増)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(1)薬業

医薬品につきましては、主力品の関節機能改善剤「アルツ」が引き続き売上を伸ばし、医療機器の癒着防止吸収性バリア「セプラフィルム」も伸長しました。創傷治癒促進剤「フィブラストスプレー」、高脂血症治療剤「リピディル」、後発医薬品も売上を伸ばしましたが、慢性動脈閉塞症治療剤「プロサイリン」、鎮痛消炎貼付剤「アドフィード等」は減収となりました。

農業薬品につきましては、果樹・野菜・芝用殺菌剤「ポリオキシシン」、水稻用除草剤「ペントキサゾン」は増収となりましたが、飼料添加物「サリノマイシン」、「コリスチン」は減収となりました。

その結果、売上高は 62,265 百万円(対前年同期比 2.9%増)、営業利益は 8,578 百万円(対前年同期比 8.4%増)となりました。

なお、海外売上高は 2,897 百万円であります。

(2)不動産事業

文京グリーンコートの地代が主たる収入である不動産事業につきましては、文京グリーンコート内にスポーツ施設が完成したことにより増収となりました。

その結果、売上高は 1,859 百万円(対前年同期比 3.9%増)、営業利益は 1,116 百万円(対前年同期比 7.0%増)となりました。

※なお、本項における対前年同期比増減率は参考情報として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は 97,495 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 3,638 百万円の増加となりました。これは主に、売上債権の増加によるものであります。

負債は 40,481 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 4,072 百万円の増加となりました。これは主に、仕入債務の増加によるものであります。

また、純資産は 57,013 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 433 百万円の減少となりました。これは主に、自己株式の取得に伴う減少であります。

自己資本比率は、58.5%(前連結会計年度末 61.2%)となりました。

(2)連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、資金という。)は、前連結会計年度末に比べ2,711百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末には、9,675百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は5,030百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1,832百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は5,909百万円となりました。これは主に、自己株式の取得や配当金の支払によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年9月29日に発表いたしました業績予想は変更しておりません。

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

(たな卸資産の評価方法)

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産につきましては、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更

(会計基準等の改正に伴う変更)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,574	8,288
受取手形及び売掛金	34,863	28,043
有価証券	1,101	4,097
商品及び製品	5,425	4,599
仕掛品	1,603	1,692
原材料及び貯蔵品	3,714	3,646
その他	3,224	2,841
貸倒引当金	△9	△6
流動資産合計	58,497	53,203
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,292	18,227
その他（純額）	7,035	6,924
有形固定資産合計	25,328	25,151
無形固定資産		
	460	495
投資その他の資産		
投資有価証券	5,410	7,733
その他	7,799	7,274
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	13,209	15,007
固定資産合計	38,998	40,653
資産合計	97,495	93,856

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,609	13,380
短期借入金	7,210	5,380
1年内返済予定の長期借入金	—	3,000
未払法人税等	1,972	2,092
引当金		
賞与引当金	645	1,155
その他の引当金	592	543
その他	5,867	4,730
流動負債合計	33,898	30,282
固定負債		
引当金		
退職給付引当金	5,597	5,100
その他の引当金	342	303
その他	643	722
固定負債合計	6,583	6,125
負債合計	40,481	36,408
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,587	22,727
利益剰余金	24,390	21,440
自己株式	△2,917	△11,618
株主資本合計	56,913	56,403
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	117	1,045
繰延ヘッジ損益	△17	△0
評価・換算差額等合計	100	1,044
純資産合計	57,013	57,447
負債純資産合計	97,495	93,856

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年12月31日)

売上高	64,125
売上原価	33,124
売上総利益	31,001
販売費及び一般管理費	
販売促進費	1,132
給料	5,765
賞与	15
賞与引当金繰入額	1,150
福利厚生費	858
退職給付費用	774
賃借料	1,244
旅費及び交通費	1,111
研究開発費	5,235
その他	4,018
販売費及び一般管理費合計	21,305
営業利益	9,695
営業外収益	
受取利息	34
受取配当金	113
その他	147
営業外収益合計	296
営業外費用	
支払利息	103
退職給付会計基準変更時差異の処理額	393
その他	45
営業外費用合計	543
経常利益	9,448
特別利益	
投資有価証券売却益	32
その他	0
特別利益合計	33
特別損失	
固定資産除却損	63
ゴルフ会員権評価損	47
投資有価証券評価損	33
投資有価証券売却損	436
その他	5
特別損失合計	585
税金等調整前四半期純利益	8,896
法人税等	3,625
四半期純利益	5,271

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	8,896
減価償却費	1,754
長期前払費用償却額	102
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	464
受取利息及び受取配当金	△148
支払利息	103
ゴルフ会員権評価損	47
投資有価証券売却損益 (△は益)	403
投資有価証券評価損益 (△は益)	33
有形固定資産除却損	63
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,820
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△804
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,228
未払消費税等の増減額 (△は減少)	274
その他	134
小計	8,733
利息及び配当金の受取額	150
利息の支払額	△99
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,752
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,030
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,096
無形固定資産の取得による支出	△76
投資有価証券の取得による支出	△187
投資有価証券の売却による収入	501
長期前払費用の取得による支出	△25
その他	52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,832
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,830
長期借入金の返済による支出	△3,000
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2,439
配当金の支払額	△2,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,909
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,711
現金及び現金同等物の期首残高	12,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,675

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	62,265	1,859	64,125	—	64,125
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	229	229	( 229 )	—
計	62,265	2,089	64,355	( 229 )	64,125
営業利益	8,578	1,116	9,695	—	9,695

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主要製品又は内容

薬業……………医薬品、農業薬品

不動産事業……………不動産賃貸、ビルメンテナンス他

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する支店及び連結子会社はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

①資本準備金の減少及びその他資本剰余金の増加

当社は、平成20年8月1日付で、平成20年6月27日開催の定時株主総会決議に基づき、資本準備金を11,141百万円減少し、その他資本剰余金を同額増加いたしました。

②自己株式の消却

当社は、平成20年8月29日付で、平成20年5月12日の取締役会決議に基づき、その他資本剰余金を原資として自己株式11,141百万円の消却をいたしました。

③自己株式の取得

当社は、平成20年8月27日の取締役会決議に基づき、平成20年12月31日までに市場から自己株式2,336百万円を取得いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が11,587百万円、自己株式が2,917百万円となっております。



「参考資料」

(1) (要約)前四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位:百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日)
	金 額
I 売上高	62,291
II 売上原価	31,849
売上総利益	30,441
返品調整引当金戻入額	4
差引売上総利益	30,445
III 販売費及び一般管理費	21,488
営業利益	8,957
IV 営業外収益	213
1 受取利息及び配当金	137
2 その他	75
V 営業外費用	586
1 支払利息	108
2 退職給付会計変更時差異償却額	393
3 その他	84
経常利益	8,584
VI 特別利益	496
VII 特別損失	911
税金等調整前四半期純利益	8,168
税金費用	3,720
四半期純利益	4,447

(2) (要約)前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日)
区 分	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	8,168
減価償却費	1,662
長期前払費用の償却額	290
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△ 115
受取利息及び受取配当金	△ 137
支払利息	108
投資有価証券売却益	△ 48
固定資産除却損	92
固定資産売却損益(益:△)	△ 448
売上債権の増減額(増加:△)	△ 1,812
たな卸資産の増減額(増加:△)	495
仕入債務の増減額(減少:△)	963
未払金の増減額(減少:△)	△ 50
未払消費税等の増減額(減少:△)	137
その他	205
小 計	9,515
利息及び配当金の受取額	134
利息の支払額	△ 95
法人税等の支払額	△ 4,120
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,434
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△ 2
投資有価証券の売却による収入	348
有形固定資産の取得による支出	△ 1,532
有形固定資産の売却による収入	524
無形固定資産の取得による支出	△ 165
長期前払費用にかかる支出	△ 306
その他	81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,052
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得・売却による純支出	△ 3,845
親会社による配当金の支払額	△ 1,939
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,785
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 1,402
VI 現金及び現金同等物の期首残高	11,914
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	10,511

(3)セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	60,501	1,789	62,291	—	62,291
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	229	229	( 229 )	—
計	60,501	2,018	62,520	( 229 )	62,291
営業利益	7,913	1,043	8,957	—	8,957

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主要製品又は内容

薬業……………医薬品、農業薬品

不動産事業……………不動産賃貸、ビルメンテナンス他

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する支店及び連結子会社はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。